

2019年度数学講究XB（数理科学概説） 日程表 * 4年生必修科目

※ 教室は117講義室です。時間は a(14:55~15:55), b(15:55~16:55) の各1時間で、それぞれ別の教員の講義があり、**それぞれの時間で 出席をとりますので、全講義出席するようお願いいたします。**

月	日	曜日	時間帯	教員名	講義のタイトル
5	7	火	a(14:55~15:55)	河東 泰之	作用素環と分類理論
5	7	火	b(15:55~16:55)	平地 健吾	多変数関数論入門
5	8	水	a(14:55~15:55)	加藤 晃史	経路積分入門
5	8	水	b(15:55~16:55)	河澄 響矢	Goldman bracket
5	14	火	a(14:55~15:55)	齊藤 宣一	偏微分方程式の解を見る
5	14	火	b(15:55~16:55)	田中 公	代数多様体の分類理論
5	15	水	a(14:55~15:55)	斎藤 毅	数論と幾何
5	15	水	b(15:55~16:55)	松井 千尋	多体系の物理と数理解論
5	21	火	a(14:55~15:55)	宮本 安人	非線形偏微分方程式の定性的理論
5	21	火	b(15:55~16:55)	三竹 大寿	偏微分方程式の弱解理論とAubry-Mather理論
5	22	水	a(14:55~15:55)	阿部 紀行	表現の構成
5	22	水	b(15:55~16:55)	山本 昌宏	非整数階微分・積分の世界へ
5	28	火	a(14:55~15:55)	足助 太郎	ベクトル場と力学系
5	28	火	b(15:55~16:55)	儀我 美一	幾何学的不等式の変分解析
5	29	水	a(14:55~15:55)	河野 俊丈	3次元多様体の幾何構造
5	29	水	b(15:55~16:55)	高木 俊輔	正標数の特異点
6	4	火	a(14:55~15:55)	小池 祐太	高次元データ解析と中心極限定理
6	4	火	b(15:55~16:55)	木田 良才	群のユニタリ表現と従順性
6	5	水	a(14:55~15:55)	ミラノフ トドール	The KdV-hierarchy and the moduli space of Riemann surfaces
6	5	水	b(15:55~16:55)	伊藤 健一	超局所解析と偏微分方程式の特異性
6	11	火	a(14:55~15:55)	植田 一石	トロピカル幾何学
6	11	火	b(15:55~16:55)	緒方 芳子	量子スピンの話
6	12	水	a(14:55~15:55)	新井 敏康	順序数解析一歩目
6	12	水	b(15:55~16:55)	三枝 洋一	p進幾何学入門
6	18	火	a(14:55~15:55)	米田 剛	流体方程式の基礎
6	18	火	b(15:55~16:55)	伊藤 由佳理	特異点の幾何学と代数学
6	19	水	a(14:55~15:55)	北山 貴裕	3次元多様体の基本群
6	19	水	b(15:55~16:55)	今井 直毅	Langlands 対応とその幾何学的実現
6	25	火	a(14:55~15:55)	稲葉 寿	人口と感染症の数理
6	25	火	b(15:55~16:55)	阿部 知行	微分方程式と数論幾何
6	26	水	a(14:55~15:55)	逆井 卓也	モジュライ空間のオイラー標数について
6	26	水	b(15:55~16:55)	中島 啓	籠の表現論
7	2	火	a(14:55~15:55)	石毛 和弘	放物型方程式の解の冪凸性
7	2	火	b(15:55~16:55)	関口 英子	リー群と表現論
7	3	水	a(14:55~15:55)	小林 俊行	非可換調和解析と表現論
7	3	水	b(15:55~16:55)	林 修平	ホースシュー写像とローレンツ・アトラクタの幾何モデル
7	9	火	a(14:55~15:55)	ウィロックス ラルフ	離散系の可積分性について
7	9	火	b(15:55~16:55)	吉田 朋広	中心極限定理と漸近展開
7	10	水	a(14:55~15:55)	戸田 幸伸	導来代数幾何学入門
7	10	水	b(15:55~16:55)	会田 茂樹	ラフパスと確率微分方程式
7	16	火	a(14:55~15:55)	権業 善範	双有理的分類理論の入門
7	16	火	b(15:55~16:55)	入江 慶	閉測地線とMorse理論

(注意事項)

*** 5月29日,6月4日にも数学講究XBは開講されます。**

* 数学講究XBは、全講義の出席を原則とします。

ただし、教育実習、介護等体験、集中講義出席のいずれかにより欠席する場合はあらかじめ所定の欠席届(欠席届用紙は教務係窓口で申し出てください)に必要事項を記入し、数学講究XA担当教員(XB担当教員ではないので注意すること)、学科長(古田教授)、理学部教務委員(時弘教授)のいずれかの署名をもらい、数理科学教務係に提出してください。欠席届の提出があれば成績評価には影響しません。